

東日本旅客鉄道株式会社

長岡事業本部長

大関 久章 様

柏崎地域の鉄道利便性の向上及び
利用促進等に向けた要望について

令和8（2026）年9月1日

柏 崎 市 長

櫻井 雅浩

柏崎商工会議所会頭

西川 正男

日頃、地域に密着した鉄道事業を展開していただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、上越・北陸新幹線は本県の基幹路線として、沿線地域や利用圏域の観光振興や経済活動の活性化に大きく寄与しています。そして二つの新幹線をつなぐ在来線についても、沿線住民の移動手段として重要な役割を担っております。

こうした中、柏崎市は従来から首都圏との移動需要が高く、長岡駅での上越新幹線への乗換えについて、接続頻度や乗換え時間の改善による利便性の向上を望む声が市民から多く寄せられています。このため、長岡駅での上越新幹線と信越本線との利便性の高い接続を実現することが、まずは優先事項であると考えております。

また、人口減少時代にありましても、ヒト・モノの輸送を担う交通ネットワークの維持・強化が求められているところであり、新潟県内におきましては、信越本線を軸とする鉄道の確保維持は、県土分断の回避が図られるものであります。

柏崎市ではこれまでも、市民、産業界、行政など地域を挙げて鉄道の利用促進に関して様々な活動を展開してまいりました。今後も、こうした取組について、地元が一丸となって、貴社とも相談しながら一層強力に進めていく所存でございます。

つきましては、柏崎地域の鉄道利便性の向上等に向けた下記の要望事項について、特段の御配意を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 優等列車の維持と利便性の向上
- 2 上越新幹線と信越本線との速達性及び利便性の高い接続の実現
- 3 越後線の活用に向けた地域との連携
- 4 悪天候時や冬期間において、安全を最優先としつつ、安定的な運行を確保できる環境の整備
- 5 市民の鉄道利用の促進に向けた取組の実施

要望内容の詳細は、別紙に記載しております。

1 優等列車の維持と利便性の向上について

地域住民の利便性向上のため、以下のとおり要望いたします。

令和4年3月のダイヤ改正時に減便した特急「しらゆき」は県内拠点都市間を結ぶ重要な優等列車であり、アクセス性を高めるためにも、繁忙期における臨時増回運行を計画するなどの対応を行うとともに、自治体と連携しながら利用促進策を講じ、運行本数の回復を図るようお願いします。

- ・特急しらゆきを5往復に回復し、そのうち1往復を糸魚川発着としていただきたい。
(糸魚川7:20発新潟へ、新潟20:00発糸魚川へ)
- ・特急しらゆきの運行区間や停車駅の見直し等、新たな車両設備等を要さず、運行本数の回復、増加や利便性向上を図ることで、収益性の向上にも寄与する方法についても、併せて検討をお願いしたい。

2 上越新幹線と信越本線との速達性及び利便性の高い接続の実現について

長岡駅における信越本線と上越新幹線との接続性を高め、柏崎・東京間の速達性及び利便性がさらに向上するよう、以下の2点を要望いたします。

- (1) 特急しらゆきと上越新幹線の接続性の向上及び速達性の高い上越新幹線が接続するよう改善をお願いします。

具体的には、東京ー柏崎間の移動における利便性の向上のため、「とき301号」又は「とき303号」と「しらゆき2号」を、「とき319号」と「しらゆき6号」を、「とき327号」と「しらゆき8号」を、「しらゆき3号」と「とき324号」について、接続の改善をしていただくようお願いいたします。

接続の現状	【東京→柏崎間】			
	とき301号	東京発 6:08	→ 長岡着 7:47	待ち時間 42分
	とき303号	東京発 7:04	→ 長岡着 8:33	4分差で接続せず
	しらゆき2号	長岡発 8:29	→ 柏崎着 8:54	
	とき319号	東京発 11:40	→ 長岡着 13:21	待ち時間 36分
	しらゆき6号	長岡発 13:57	→ 柏崎着 14:22	
	とき327号	東京発 15:40	→ 長岡着 17:19	3分差で接続せず
	しらゆき8号	長岡発 17:16	→ 柏崎着 17:41	
【柏崎→東京間】				
	しらゆき3号	柏崎発 13:50	→ 長岡着 14:15	待ち時間 34分
	とき324号	長岡発 14:49	→ 東京着 16:28	

- (2) 令和8年3月のダイヤ改正により、午前7時09分直江津始発（柏崎7時41分発）の快速3373Mと「とき308号」が接続され、速達性が改善されました。

この快速3373Mの利用者は、通学及び通勤並びにビジネスの利用者が多いことから、現行の2両編成から4両編成に増車願います。

3 越後線の活用に向けた地域との連携について

越後線の運行維持に向けて、以下のとおり要望いたします。

越後線のうち柏崎・吉田間は、利用者が少ない路線として収支データが公表されましたが、当該路線は、沿線住民の通学・通勤・通院などの生活交通として重要な役割を担っています。

越後線の利用促進及び活性化並びに沿線地域住民の通院・通学・通勤など生活交通としての機能維持・運行維持に向けて、沿線自治体や関係団体等で構成する「新潟県鉄道整備促進協議会 越後線活性化分科会」において、詳細な乗車データの提供を含め、協議・連携をお願いします。

4 悪天候時や冬期間において、安全を最優先としつつ、安定的な運行を確保できる環境の整備について

利用者が安心して鉄道を利用できるよう、以下の2点を要望いたします。

- (1) 冬季における遅延・運休は、列車への信頼性を失い、利用者離れの原因となり得ることから、除雪体制の強化や防風柵の設置等、安定運行のための取組を一層強化するようお願いします。また、利用者の多い柏崎・長岡間は折り返し運転への速やかな判断等により、運行の確保をお願いします。
- (2) 安全上やむを得ず遅延・運転見合せする場合には、様々な媒体を利用した情報発信や自治体及び関係する学校との連絡体制を強化するとともに、早期運行再開のための体制の整備に引き続き取り組むようお願いします。

5 市民の鉄道利用の促進に向けた取組の実施について

鉄道の利用促進を図るため、以下の3点を要望いたします。

- (1) Suica を広く普及させることで鉄道の利便性の向上及び市民の鉄道利用促進につながるだけでなく、最終的には Suica やモバイル Suica で乗り降りするという合理的な活用へとつながることから、長岡・柏崎間における簡易 Suica 改札機の導入を含む Suica エリアの拡大を始めとするチケットレス化、キャッシュレス化の導入の早期実現をお願いします。
- (2) 令和8(2026)年11月1日乗車分から「えきねっとQチケ」が上信越エリアに拡大され、JR東日本全エリアでチケットレス乗車ができるように改善されることに伴い、利用者への周知をお願いします。
- (3) 利用促進事業の対象者の設定や事業の効果検証のため、特急しらゆきの利用状況等の詳細なデータの提供をお願いします。